

# 米国経済・金融概況 (2022年11月)

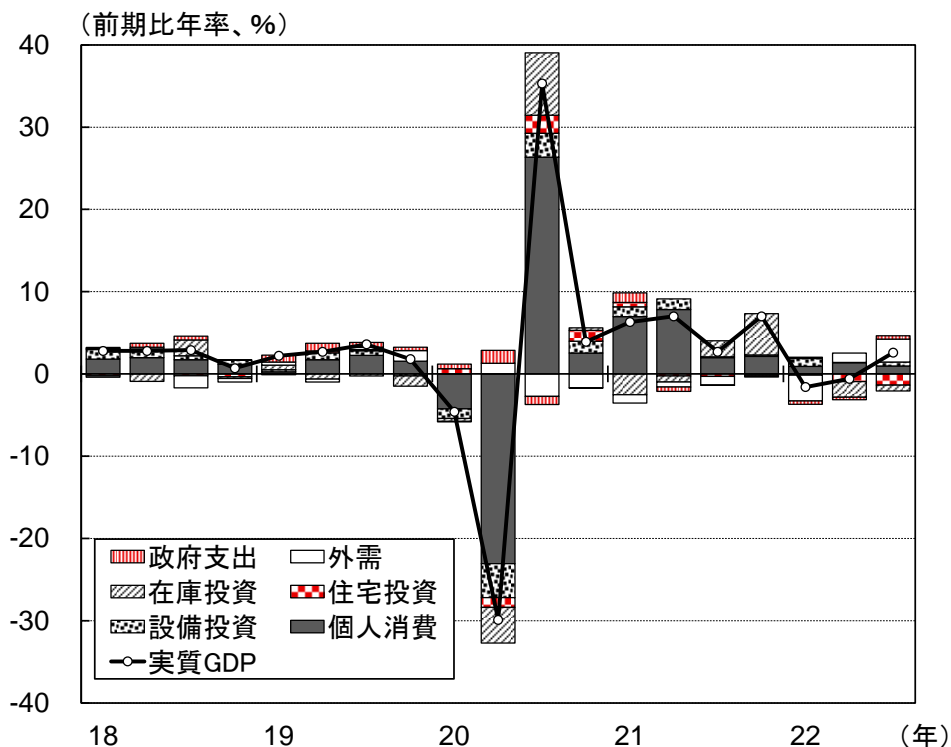
2022年11月18日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

# 1. GDP

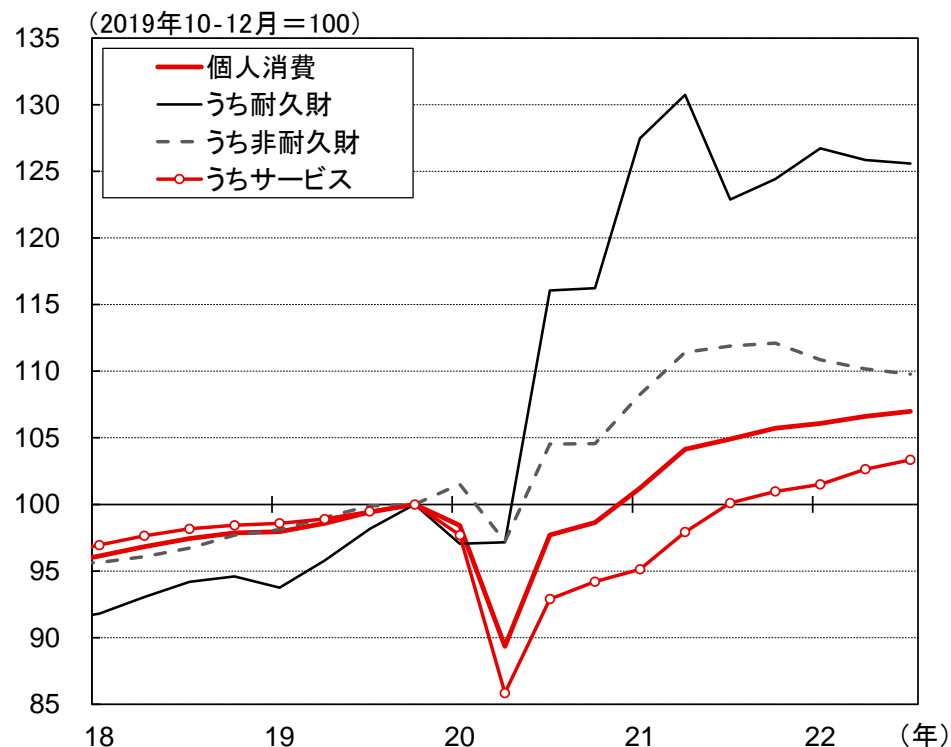
- 7-9月期の実質GDP成長率は前期比年率+2.6%と三四半期ぶりのプラス成長(4-6月期:同▲0.6%)。
- 需要項目別にみると、純輸出(寄与度)が同+2.8%ポイントと成長率を押し上げた。輸出は同+14.4%と、工業用原材料(主に石油関連)や資本財を中心に大幅増加。輸入(GDPの控除項目)は同▲6.9%と、主に消費財が減少。輸入の減少はGDP統計上プラスに寄与するものの、個人消費の減速を示唆。
- 内需は減速感が強まり、住宅投資は同▲26.4%(寄与度:同▲1.4%ポイント)と、急速な金利上昇の影響を受けて大幅に減少。個人消費は同+1.4%と前期(同+2.0%)から減速。内訳をみると、耐久財は主に自動車・同部品の減少により同▲0.8%、非耐久財は飲食料品等の減少により同▲1.4%、サービスは同+2.8%とプラスを維持したものの、飲食・宿泊の伸びが鈍化して前期(同+4.6%)から減速。設備投資は同+3.7%と底堅さを維持。内訳をみると、構造物投資は同▲15.3%と大幅に減少した一方、機械投資は同+10.8%、知的財産投資は同+6.9%と増加。

実質GDP成長率の推移



(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

実質個人消費の推移

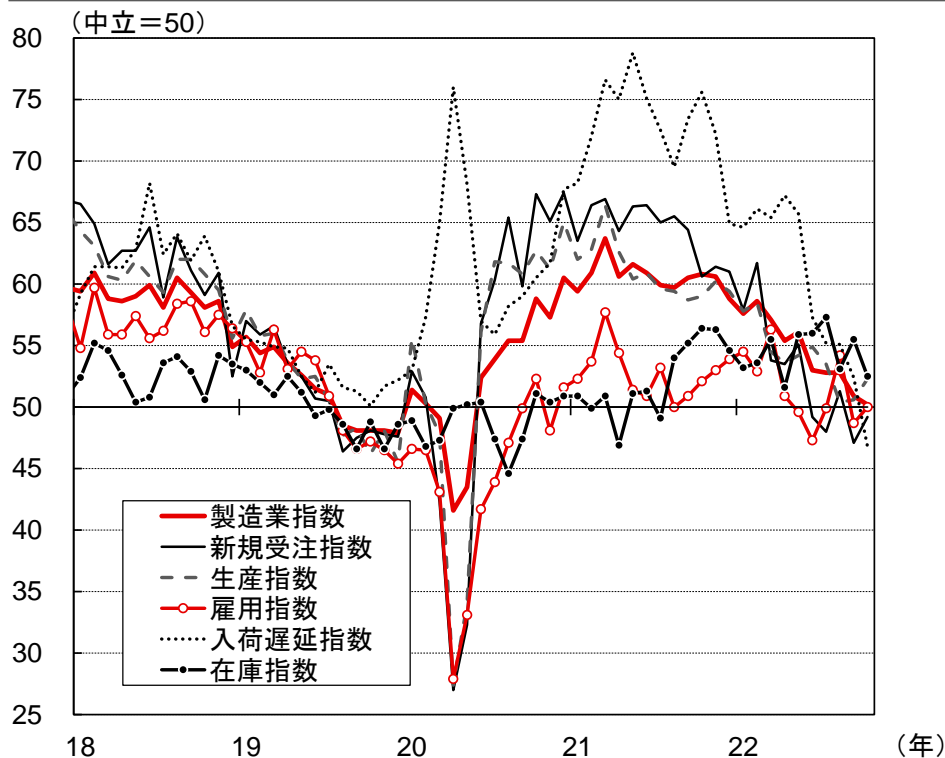


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 2. 企業活動

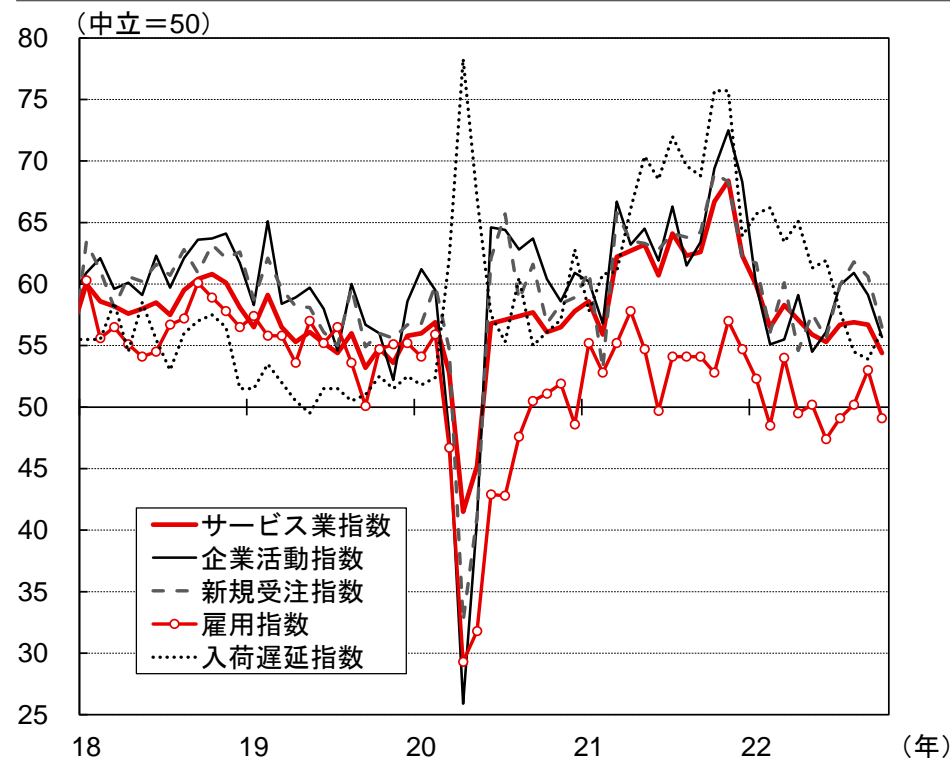
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数(総合指数)は、10月に50.2(前月比▲0.7)と2ヵ月連続で低下。指数の構成項目をみると、新規受注指数(49.2、同+2.1)、生産指数(52.3、同+1.7)、雇用指数(50.0、同+1.3)は前月から上昇した一方、入荷遅延指数(46.8、同▲5.6)、在庫指数(52.5、同▲3.0)が大幅に低下。産業別では全18産業のうち8産業が拡大、10産業が縮小を報告。
- 10月のISMサービス業指数(総合指数)は54.4(前月比▲2.3)と2ヵ月連続で低下。指数の構成項目をみると、入荷遅延指数(56.2、同+2.3)は上昇した一方、新規受注指数(56.5、同▲4.1)、雇用指数(49.1、同▲3.9)、企業活動指数(55.7、同▲3.4)は低下。産業別では全18産業のうち16産業が拡大、2産業が縮小を報告。
- 製造業の入荷遅延指数は2009年3月以来の低水準、価格指数は46.6(前月比▲5.1)と2020年5月以来初めて50を下回る等、財のインフレ圧力は低下しつつあることを示唆。

ISM製造業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移

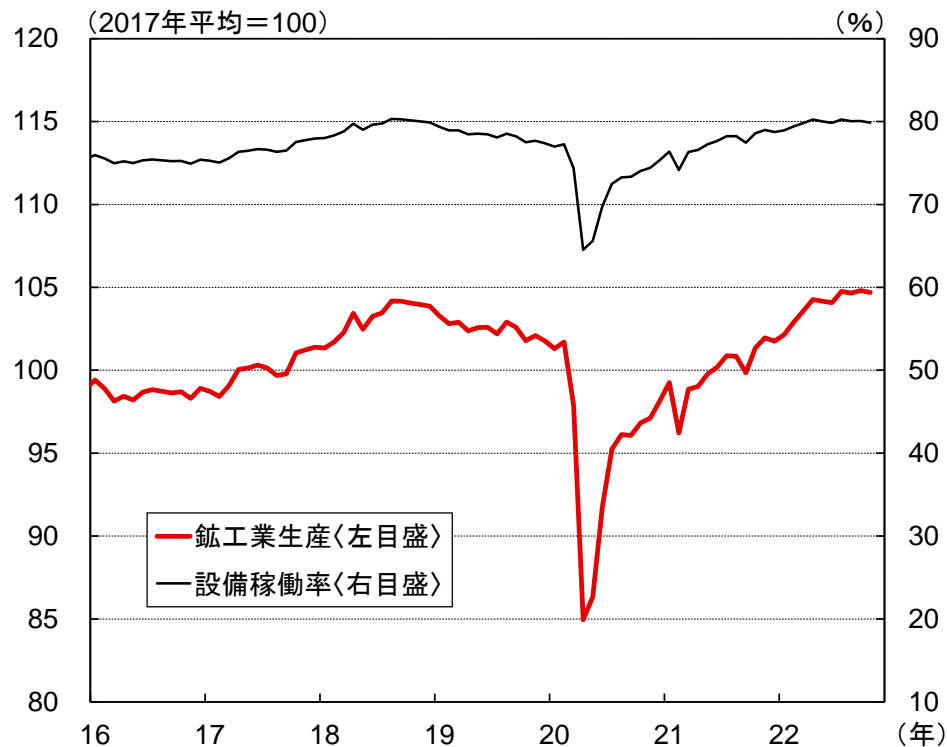


(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 3. 生産

- 10月の鉱工業生産は前月比▲0.1%と2カ月ぶりに減少。産業別にみると、全体の約7割を占める「製造業」が同+0.1%と小幅増加した一方、「鉱業」は石油・ガス採掘の減少により同▲0.4%、「公益事業(電力・ガス)」も同▲1.5%と減少。10月の設備稼働率は79.9%と前月から0.2%ポイント低下。
- 9月の耐久財受注は前月比+0.4%と2カ月連続で増加。内訳をみると、一次金属(同▲1.9%)、電機・家電(同▲1.2%)、金属製品(同▲0.5%)、コンピュータ・電子製品(同▲0.4%)などは減少した一方、全体の3割程度を占める輸送用機器(同+2.2%)が2カ月連続で増加。設備投資の先行指標であるコア資本財受注(非国防資本財受注、除く航空機)は同▲0.4%と7カ月ぶりに減少。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移



(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 4. 雇用

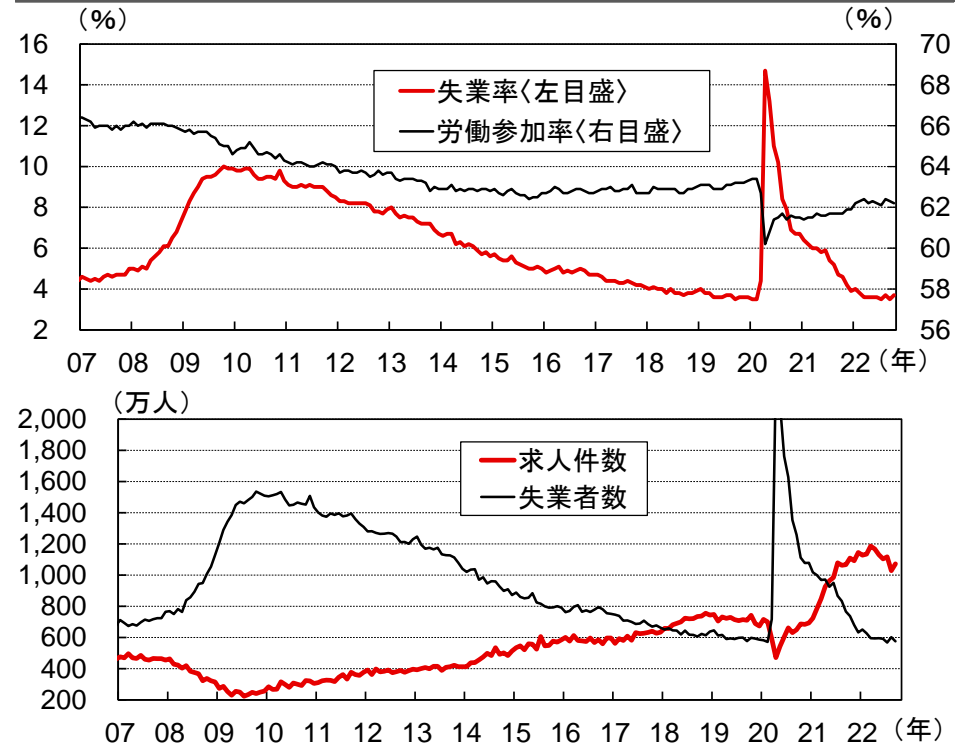
- 10月の非農業部門雇用者数は前月比+26.1万人と、9月(同+31.5万人、改定値)から減速したものの堅調な伸びが継続。業種別にみると、「医療」(同+5.3万人)、「専門・技術サービス」(同+4.3万人)、「製造業」(同+3.2万人)などが高い伸び。非農業部門雇用者数はパンデミック前(2020年2月)に対して+80.4万人(+0.5%)。
- 失業率は3.7%と前月比+0.2%ポイント上昇。労働参加率は62.2%(前月比▲0.1%ポイント)と小幅低下。時間当たり平均賃金(民間部門)は前年比+4.7%(前月:同+5.0%)と、10ヵ月ぶりに5%を下回ったものの、パンデミック前の3%台を上回る高い伸びが継続。
- 9月の求人件数は1,071.7万件(前月比+43.7万件)と2ヵ月ぶりに増加。求人件数は3月をピークに減少基調にあり、労働需給は緩和しつつあるものの、引き続き高水準。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率・労働参加率・求人件数・失業者数の推移

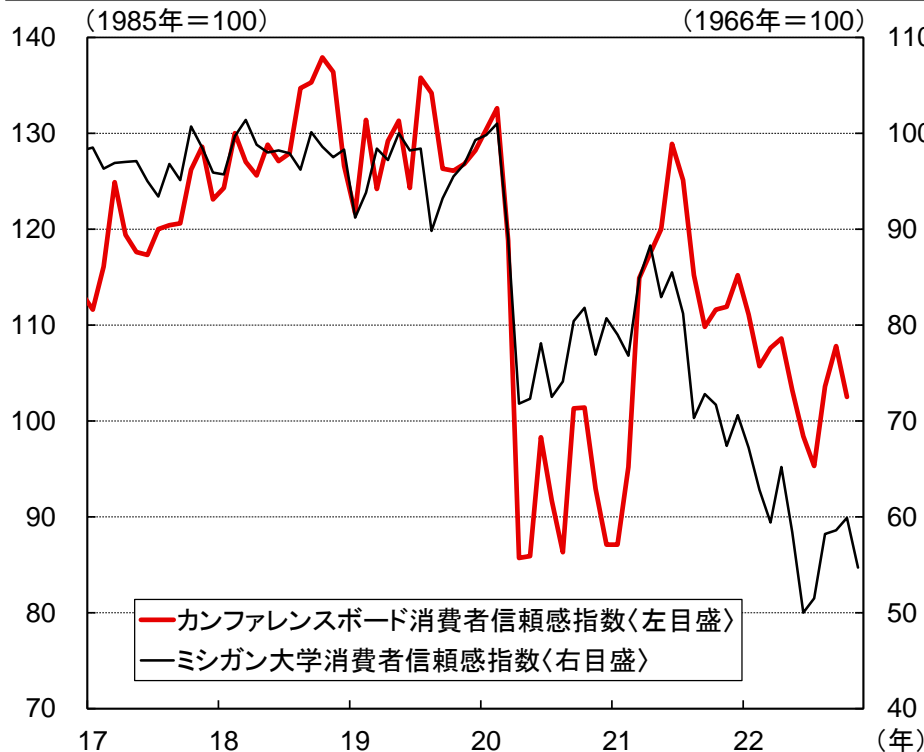


(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 5. 個人消費

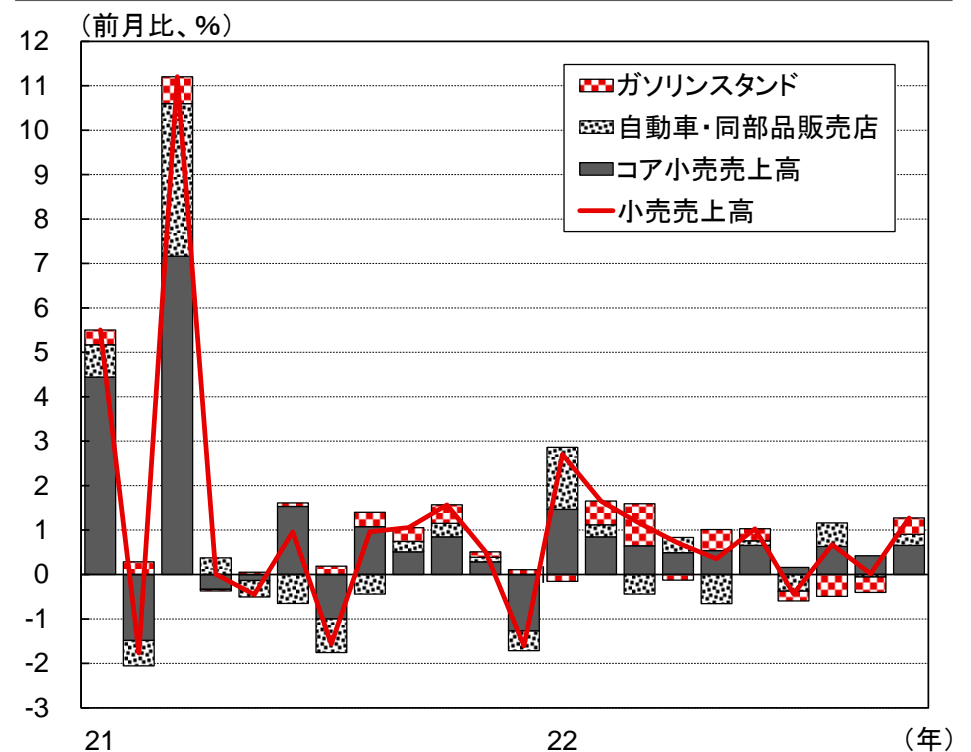
- 10月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は102.5(前月比▲5.3)と3ヵ月ぶりに低下。現況指数は138.9(同▲11.3)、期待指数は78.1(同▲1.4)と夫々低下。11月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)も54.7(同▲5.2)と5ヵ月ぶりに低下。ガソリン価格の下げ止まりとインフレ率の高止まり、金利上昇への懸念が影響。
- 10月の小売売上高は前月比+1.3%(9月:同+0.0%)。業種別にみると、「ガソリンスタンド」(同+4.1%)、「飲食店」(同+1.6%)、「自動車・部品販売店」(同+1.3%)、「無店舗小売店」(同+1.2%)等が増加。「ガソリンスタンド」と「自動車・部品販売店」を除くコア小売売上高は同+0.9%と10ヵ月連続で増加。

消費者信頼感指数の推移



(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

小売売上高の推移

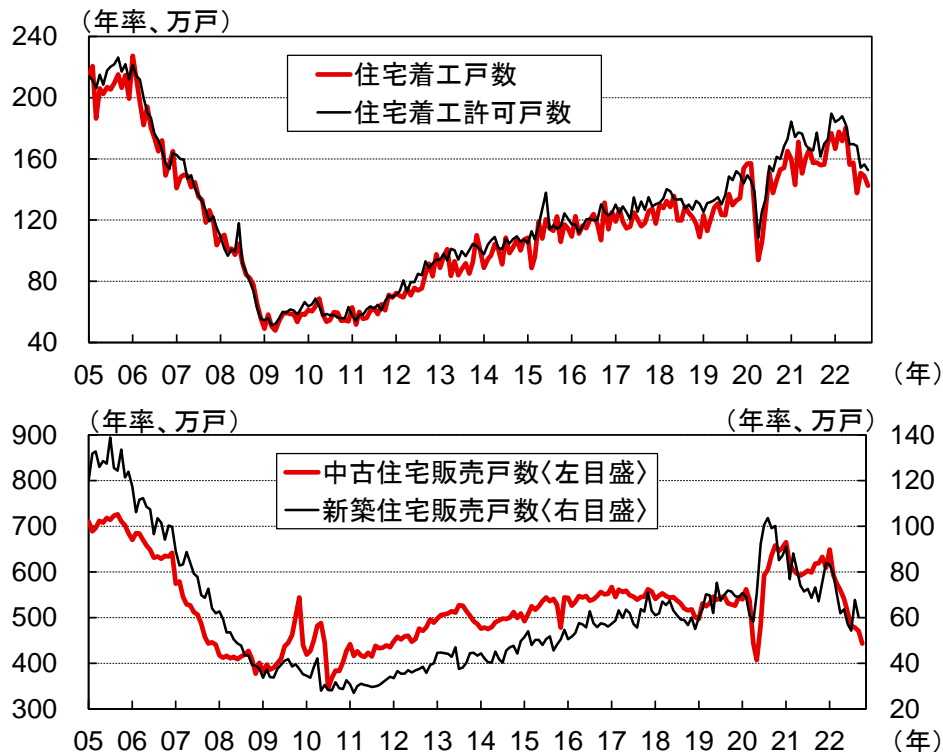


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 6. 住宅

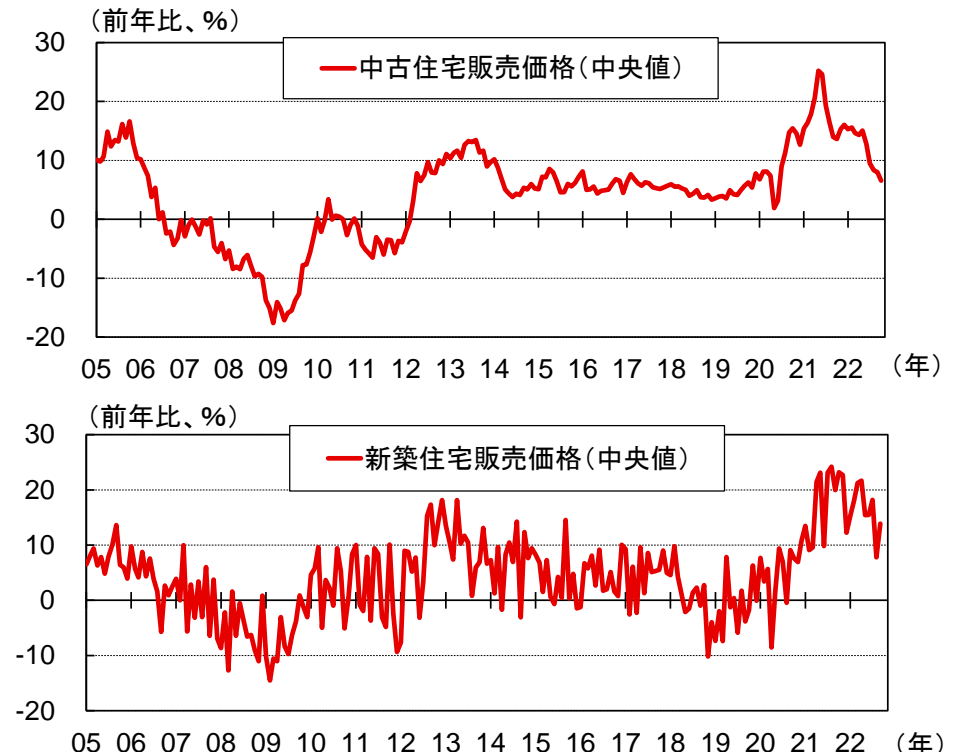
- 10月の住宅着工戸数は前月比▲4.2%の年率142.5万戸(季節調整済)と2ヵ月連続で減少。内訳をみると、一戸建住宅は同▲6.1%、集合住宅(2世帯以上)は同▲1.2%と夫々減少。先行指標である住宅着工許可戸数は同▲2.4%の年率152.6万戸(季節調整済)と2ヵ月ぶりに減少。内訳をみると、一戸建住宅は同▲3.6%、集合住宅(2世帯以上)は同▲1.0%と夫々減少。
- 住宅販売戸数は、中古住宅が10月に前月比▲5.9%の年率443.0万戸(季節調整済)と9ヵ月連続で減少。新築住宅は9月に同▲10.9%の年率60.3万戸(季節調整済)と2ヵ月ぶりに減少。
- 住宅販売価格は、中古住宅が10月に379,100ドル(中央値)、前年比+6.6%(9月:同+8.0%)と前月から伸びが鈍化。新築住宅は9月に470,600ドル(中央値)、同+13.9%(8月:同+7.8%)と前月から伸びが加速。

住宅着工戸数・着工許可戸数・住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売価格の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 7. 物価

- 10月の消費者物価指数は前年比+7.7%と4カ月連続で伸びが鈍化(9月:同+8.2%)、食品とエネルギーを除いたコア指数も同+6.3%と4カ月ぶりに伸びが鈍化(9月:同+6.6%)。コア指数は「住居」(9月:同+6.6%→10月:同+6.9%)、「輸送サービス」(同+14.6%→同+15.2%)等の伸びが加速した一方、「中古車」(同+7.2%→同+2.0%)の伸びが大幅に鈍化。
- 10月の生産者物価指数は前年比+8.0%と4カ月連続で伸びが鈍化(9月:同+8.4%)。内訳をみると、「財」は同+10.5%(9月:同+11.3%)、「サービス」は同+6.3%(9月:同+6.6%)と夫々伸びが鈍化。食品とエネルギーを除いたコア指数は同+6.7%(9月:同+7.1%)と7カ月連続で伸びが鈍化。

消費者物価指数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移



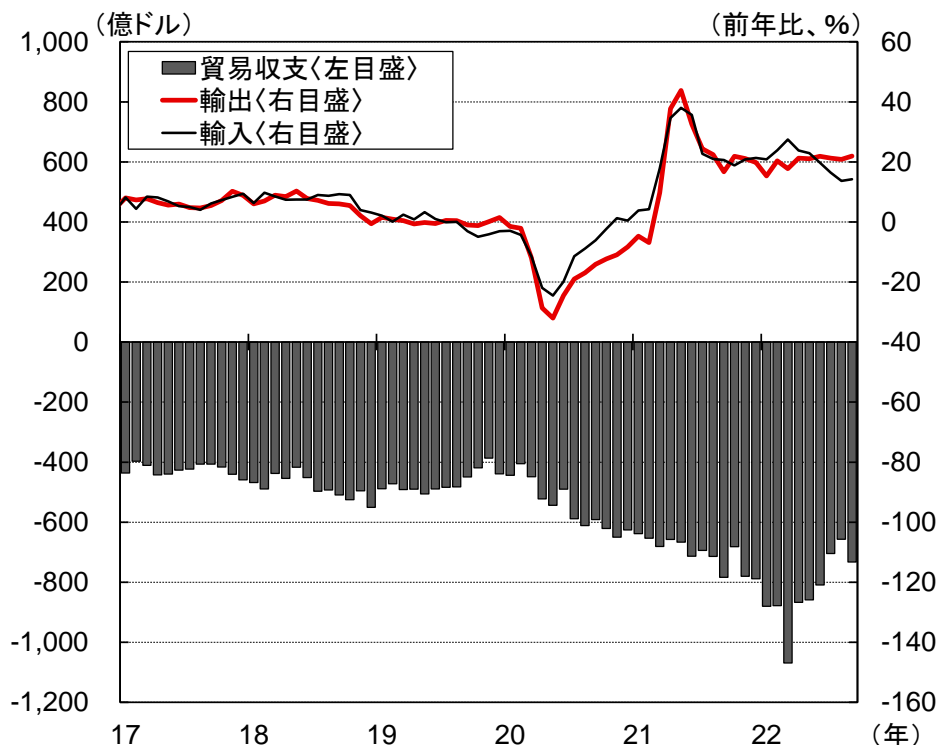
(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成



## 8. 国際収支

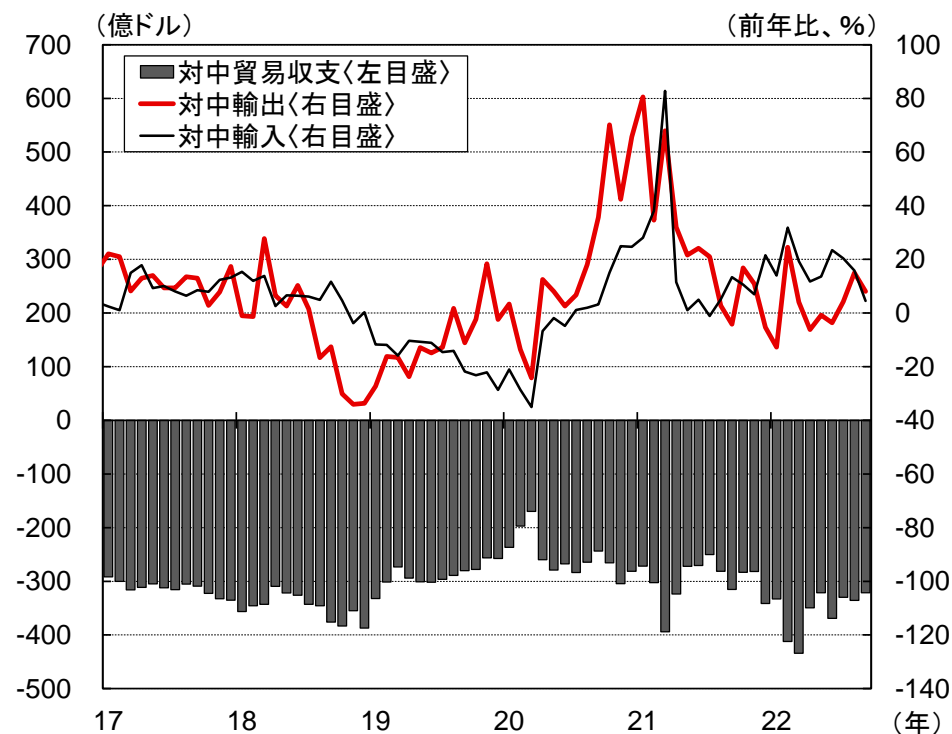
- 9月の貿易収支(財・サービス)は733億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比+11.6%(同+76億ドル)と6カ月ぶりに拡大。輸出は同▲1.1%と減少した一方、輸入は同+1.5%と増加。前年比でみると輸出は+21.9%、輸入は+14.3%。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める中国との貿易赤字は9月に321億ドルとなり、赤字幅は前月比▲4.2%(同▲14億ドル)と縮小。対中輸出(財)は同▲6.5%、対中輸入(財)は同▲4.9%と夫々減少。前年比でみると、対中輸出(財)は+8.1%、対中輸入(財)は+4.5%。

貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。  
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。  
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 9. 金融市場動向

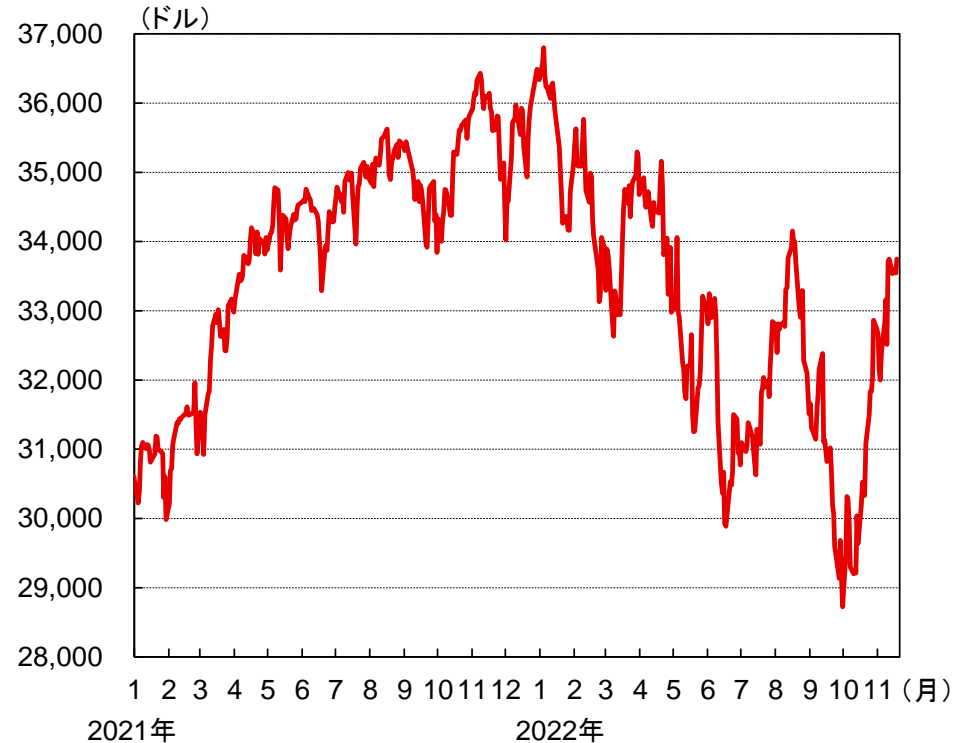
- 10年物国債利回りは、10月の消費者物価指数の伸びが市場予想以上に鈍化し、FRBの利上げペースが減速するとの見方が強まったことを受けて、3%台後半まで低下。
- ダウ平均株価は、底堅い企業決算やFRBによる利上げ減速への期待から、10月半ば以降は上昇基調で推移。

10年物国債利回りの推移



(資料) Macrobondより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Macrobondより三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		21年9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	60.5	60.8	60.6	58.8	57.6	58.6	57.1	55.4	56.1	53.0	52.8	52.8	50.9	50.2	-
	ISMサービス業指数	62.6	66.7	68.4	62.3	59.9	56.5	58.3	57.1	55.9	55.3	56.7	56.9	56.7	54.4	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	99.8	101.4	102.0	101.8	102.1	102.9	103.6	104.3	104.2	104.1	104.8	104.7	104.8	104.7	-
	前月比(%)	-1.0	1.5	0.6	-0.2	0.4	0.7	0.7	0.7	-0.1	-0.1	0.7	-0.1	0.1	-0.1	-
	設備稼働率(%)	77.4	78.6	79.0	78.7	78.9	79.4	79.8	80.2	80.0	79.8	80.2	80.0	80.1	79.9	-
	製造業受注(億ドル)	4,919	5,009	5,063	5,088	5,205	5,221	5,314	5,350	5,444	5,542	5,484	5,495	5,510	-	-
	前月比(%)	▲0.3	1.8	1.1	0.5	2.3	0.3	1.8	0.7	1.8	1.8	▲1.0	0.2	0.3	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	2,468	2,505	2,541	2,565	2,644	2,625	2,643	2,654	2,675	2,736	2,732	2,738	2,749	-	-
	前月比(%)	▲1.5	1.5	1.4	0.9	3.1	▲0.7	0.7	0.4	0.8	2.3	▲0.1	0.2	0.4	-	-
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	42.4	67.7	64.7	58.8	50.4	71.4	39.8	36.8	38.6	29.3	53.7	29.2	31.5	26.1	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	30.92	31.11	31.23	31.38	31.56	31.60	31.75	31.86	31.98	32.11	32.27	32.36	32.46	32.58	-
	前年比(%)	4.8	5.4	5.3	4.9	5.4	5.2	5.6	5.5	5.3	5.2	5.2	5.2	5.0	4.7	-
	失業率(%)	4.7	4.6	4.2	3.9	4.0	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.7	3.5	3.7	-
	個人所得(年率、億ドル)	209,097	210,730	211,766	212,368	212,057	213,195	214,343	215,036	216,243	217,487	218,345	219,185	219,974	-	-
	前月比(%)	▲0.8	0.8	0.5	0.3	▲0.1	0.5	0.5	0.3	0.6	0.6	0.4	0.4	0.4	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	162,680	164,737	165,579	165,224	167,256	168,445	170,542	171,156	172,311	174,374	173,981	174,950	176,079	-	-
	前月比(%)	0.8	1.3	0.5	-0.2	1.2	0.7	1.2	0.4	0.7	1.2	-0.2	0.6	0.6	-	-
	貯蓄率(%)	7.9	7.3	7.1	7.5	4.7	4.5	3.8	3.7	3.6	3.0	3.5	3.4	3.1	-	-
	小売売上高(億ドル)	6,316	6,415	6,447	6,344	6,516	6,623	6,700	6,747	6,771	6,841	6,811	6,857	6,858	-	-
	前月比(%)	1.1	1.6	0.5	▲1.6	2.7	1.7	1.2	0.7	0.4	1.0	▲0.4	0.7	0.0	-	-
	自動車販売台数(年率、万台)	1,231	1,322	1,310	1,272	1,511	1,371	1,355	1,428	1,258	1,305	1,332	1,324	1,357	1,490	-
	前月比(%)	▲5.7	7.4	▲0.9	▲3.0	18.8	▲9.2	▲1.2	5.4	▲11.9	3.7	2.1	▲0.6	2.5	9.8	-
カンファレンスボード消費者信頼感指数	109.8	111.6	111.9	115.2	111.1	105.7	107.6	108.6	103.2	98.4	95.3	103.6	107.8	102.5	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	72.8	71.7	67.4	70.6	67.2	62.8	59.4	65.2	58.4	50.0	51.5	58.2	58.6	59.9	54.7	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移

		21年9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	156	156	171	177	178	178	172	181	156	158	138	151	149	143	-
	前月比(%)	▲1.1	0.3	9.1	3.6	▲5.8	6.7	▲3.4	5.2	▲13.5	0.8	▲12.6	9.5	▲1.3	▲4.2	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	618	619	633	609	649	593	575	560	541	511	482	478	471	443	-
	前月比(%)	3.2	0.2	2.3	▲3.8	6.6	▲8.6	▲3.0	▲2.6	▲3.4	▲5.5	▲5.7	▲0.8	▲1.5	▲5.9	-
物価	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	73	67	76	84	83	79	71	62	64	57	54	68	60	-	-
	前月比(%)	6.7	▲8.3	12.7	11.0	▲1.0	▲4.9	▲10.5	▲12.4	2.7	▲10.2	▲4.9	24.7	▲10.9	-	-
	消費者物価指数(1982~84年=100)	274.3	276.6	277.9	278.8	281.1	283.7	287.5	289.1	292.3	296.3	296.3	296.2	296.8	298.0	-
	前月比(%)	0.4	0.9	0.7	0.6	0.6	0.8	1.2	0.3	1.0	1.3	▲0.0	0.1	0.4	0.4	-
国際収支	前年比(%)	5.4	6.2	6.8	7.0	7.5	7.9	8.5	8.3	8.6	9.1	8.5	8.3	8.2	7.7	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	129.1	130.1	131.1	131.3	133.1	134.6	137.3	138.2	139.4	140.8	140.3	140.0	140.0	140.5	-
	前月比(%)	0.5	0.7	1.0	0.6	1.2	1.1	1.7	0.5	0.8	0.9	▲0.4	▲0.0	0.2	0.2	-
	前年比(%)	8.8	8.9	9.9	10.0	10.1	10.4	11.7	11.2	11.1	11.2	9.7	8.7	8.4	8.0	-
国際収支	輸出(財、億ドル)	1,445	1,576	1,565	1,594	1,569	1,606	1,704	1,768	1,798	1,833	1,832	1,839	1,802	-	-
	輸入(財、億ドル)	2,406	2,439	2,548	2,599	2,653	2,675	2,968	2,839	2,840	2,826	2,742	2,700	2,729	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲962	▲862	▲983	▲1,005	▲1,084	▲1,069	▲1,264	▲1,070	▲1,042	▲993	▲911	▲862	▲927	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲783	▲682	▲780	▲789	▲880	▲878	▲1,069	▲867	▲859	▲809	▲705	▲657	▲733	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料)各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)  
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : [cokada-wighe@us.mufg.jp](mailto:cokada-wighe@us.mufg.jp)